

## 会議録

- 会議の名称 令和3年度第2回座間市環境審議会
- 開催日時 令和3年10月7日(木) 午前9時30分～午前11時45分
- 会議場所 座間市役所5階 5-1会議室
- 出席者
  - 委員 田中会長、小池副会長、村山委員、藤倉委員、鈴木委員、西委員、西海委員、室星委員、吉井委員、長沼委員
  - 事務局 環境経済部長、環境政策課長、環境政策係長、環境政策主事、環境政策係員
- 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 傍聴者 なし
- 議題
  - (1)座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール審査
  - (2)座間市環境基本計画年次報告書(令和2年度報告)(案)について
  - (3)計画改定に係るアンケート調査票(案)について
  - (4)計画改定に係る基礎調査結果について

### 【配布資料】

- ・次第
- ・資料1 座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール実施要領
- ・資料2 座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール審査要領
- ・資料3 座間市環境基本計画年次報告書(令和2年度報告案)
- ・資料4 座間市環境基本計画年次報告書(令和2年度報告案)に対する意見書
- ・資料5 アンケート調査の実施について(市民・事業者の環境に対する意識の把握)
- ・資料6 環境に関する市民アンケート調査のお願い
- ・資料7 環境に関する事業者アンケート調査のお願い
- ・資料8 市民・事業者アンケート調査票 修正対照表
- ・資料9 第2次座間市環境基本計画(仮)基礎調査結果まとめ

○議事の概要

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議題

- (1)座間市環境美化条例啓発ポスターコンクール審査
- (2)座間市環境基本計画年次報告書（令和2年度報告）（案）について
- (3)計画改定に係るアンケート調査票（案）について
- (4)計画改定に係る基礎調査結果について

- 4 閉会

～事務局から議題(1)について説明～

(座間市環境審議会規則第7条第2項の規定により非公開。)

～事務局から議題(2)について説明～

・田中会長

座間市環境基本計画年次報告書（令和2年度報告案）の内容について質問や御意見がありましたら、御発言をいただきたいと思います。

・藤倉委員

全体的なことですが、令和2年度の評価は新型コロナウイルス感染症の影響で市民参加型は軒並み減っています。74頁に評価の一覧がありますが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得なかった指標は、米印付けるなどして、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた項目ですということを書き、詳しくはそれぞれの説明を見るようにしてはいかがでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響で環境の状況が良くなった項目と悪くなった項目の両方あると思いますが、それを表してはどうでしょうか。

・田中会長

ありがとうございます。

・村山委員

評価Cの中でも新型コロナウイルス感染症の影響がある項目と関係のない項目があるということですね。

・藤倉委員

環境自体が悪くなった例としては、47頁の河川の水質は評価Cですが、これは、新型

コロナウイルス感染症は関係ありません。理由があまり考察されてないので、理由を考察してほしいと思いました。

・田中会長

分かりました。確かにそのとおりだと思います。74頁に、本文の何頁にこの項目に関する記載があるかを書いていると見やすいかもしれません。他にいかがでしょうか。

・長沼委員

やはり新型コロナウイルス感染症の影響は全体に出ているため、第1章で令和2年度の改訂に伴う変更点が最後にありますが、もし概要的に眺めるのであれば、ここでまとめてもいいかと思います。

例えば、ごみの話も事業活動が減って事業系ごみが減り、自粛で家庭ごみが増えたという影響で特異的な動きをしている部分もあるため、評価の一覧や最初に説明があるとわかりやすいかと思います。

・田中会長

分かりました、第1章は計画の概要ということで、計画本体の話になります。評価は、第2章から分野別の取り組み結果が載っています。ですので、第2章の冒頭に整理をするか、あるいはこの年次報告書そのものを説明する箇所ですと令和2年度の状況について記載するかだと思います。そこは検討させていただきたいと思います。

他に御意見ありましたらお願いしたいと思います。

・村山委員

22頁の主な施策の実施状況と今後の課題の下は、改行ミスですね。

・事務局

はい、そうです。申し訳ございません。

・藤倉委員

87頁以降のデータ編は、年度を書いておらず4月から3月と書いているのは、全部令和2年度ということでよろしいでしょうか。

その説明がないので説明を記載するか、あるいは全部のグラフの月別変化の所に括弧2020年度と書くとよろしいかと思います。

・田中会長

そうですね。

・西委員

ポスターコンクールは応募が15名ということでしたが、もう少し全体に啓発を含めて周知をして、応募者が50人以上くらいある中で選ぶような形にできないでしょうか。親子環境教室や夏休みなどで取り組むなど啓発を絡めながら、もう少し周知する工夫がほしいと思いました。

・事務局

分かりました。

・田中会長

それも意見として出しましょう。

・鈴木委員

56頁、54頁の中で、令和2年度から令和12年度までの11年間で温室効果ガスの総排出量を40パーセント削減するという目標を掲げていますが、この40パーセントの数字は何を根拠に目標にされているのでしょうか。

・事務局

国の地球温暖化対策計画では、温室効果ガスの総排出量を令和12年度において、市役所が該当する業務その他部門における削減目標が平成25年度比40パーセント削減となっており、そちらを根拠として国の目標に合わせて座間市地球温暖化対策実行計画においても平成25年度を基準として令和12年度までの11年間で温室効果ガスの総排出量を40パーセント削減としております。

・田中会長

国の計画を根拠にしているということですね。他にいかがでしょうか。

・小池副会長

先ほどから新型コロナウイルス感染症の影響でいろいろなものが中止になったということでしたが、例えば環境講演会や湧水ツアーがゼロ回ゼロ人と書いているのは、中止と書いた方がいいのではないのでしょうか。ゼロ回というのは、意図的に開催しなかったもので、開催予定が中止になってしまったので、中止と書いたほうがいいと思います。

・事務局

分かりました。表現を工夫します。

・藤倉委員

151頁から152頁に公害苦情がありますが、令和2年度はこの7、8年ぐらいの中で突出して多いですね。特に振動の苦情が急に増えています。これは家にいる人が多いためなど何か原因を分析できますか。

・事務局

実際、苦情を受けている中での感覚としては、新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークなどが増えて、工事等で発生する振動など今まで感じてなかったものを感じて苦情になることが多いです。

・藤倉委員

だから住宅地の苦情が増えているということですね。面白いかもしれません。一言、可能性があるなどとして書けるといいですね。

先ほどの廃棄物もそうですが、家での滞在時間が増えたことによる影響があるということで、田中会長がおまとめになる環境審議会の指摘の中で環境の変化として少し言及するといいかもしれません。

・西海委員

151頁に関してですが、最近アメリカ軍の飛行機の音がうるさいと思っているのですが、そういった苦情は直接、電話がかかってくるのか、どういう受け付け方をしているのですか。

・事務局

直接、市民の方から電話で受け付けています。飛行機は別の部署ですので少ないですが、騒音としては工事の音がうるさいというのが圧倒的に多いです。

航空機騒音は別の部署になるため、当課では扱いはありません。

・西海委員

すぐには対応できないでしょうか。

・事務局

現地を確認させていただき、それぞれの法律に則って守られているのか見させていただいています。例えば道路工事でしたら近隣に配慮していただけるようお願いしたりするなどです。

・西海委員

それで苦情を申し立ててきた人に答えているのですか。

・事務局

はい、このような対応をしましたという答えもいたします。

・田中会長

航空騒音については、この年次報告書の中に言及されている箇所がありました。51頁に測定の話かと思いますが、若干、記載があります。

ちなみに航空機騒音の苦情といわゆる生活環境の中での工場や建設音などの苦情は分けて集計しているのですか。

・事務局

はい。

・田中会長

分けていることには何か意味がありますか。部署が違うということですか。

・事務局

そうです。部署が違うことと、座間市は基地を抱えていますので区分けしています。

・田中会長

151頁は苦情全体的話で、全体集計表がありました。場合によっては、ここに航空機騒音の苦情を別枠で入れてもいいのかもしれませんが。

・藤倉委員

おそらく151頁は公害等調整委員会の公害苦情として集計して国に報告する値になっており、航空機騒音は危機対策で扱っていて、外務省経由で対応するので別統計が必要ということですね。

・田中会長

それはよく分かりますので、この集計表の下に航空機騒音の苦情について別枠で記載するという事です。これは市民にとっては同じ生活環境の一環ですので。

・事務局

151頁、154頁の資料編に入れるか、51頁の航空機騒音に触れている中で報告さ

せていただくか検討させていただきます。

・田中会長

お願いいたします。恐らく151頁の表は、環境省が集計している苦情の統計の数値になるのですが、基地を抱えている自治体の市民の生活環境が侵害されているということが関わってくることもあるでしょうから、そういうデータも載せると参考数値の一つとして意味があるのではないかと思います。

・事務局

分かりました。

・小池副会長

騒音については航空機を除いているということでしたら、51頁の最後の文章に、今後実態把握のため、騒音の測定を継続しますというのをおかしいのではないですか。今後継続しますということは、今も航空機の騒音も測定しているということですね。

・事務局

そうですね。

・小池副会長

そうでしたら、思い切って省いてはどうですか。

・田中会長

恐らく51頁の話は、騒音の計測の話と苦情を受け付けているというのはカテゴリーが違います。

・事務局

そうですね、表現が分かりづらくなっていますので、検討して、御指摘の箇所を外すか、載せるとしても分かりやすいような形で掲載します。

・小池副会長

そうですね。

・田中会長

苦情全体の話は、43頁に苦情全体の件数が出ていますね。  
他にいかがでしょうか。

・吉井委員

市で常日頃、環境問題に対して大変な御努力をされているということがこの原稿から読み取れます。つきまして、環境にエネルギーをこう使っているというところを突っ込んでもいいのではないかという感想を抱いております。

それぞれの項目について一般的に、悪い状況がつけられると、そこに注目して施策は取ると思います。実は、市の側の活動のエネルギーとしては、データが悪くなった場合とデータが横並びまたは改善しているものをさらに良い状態を保つためのエネルギーはさほど変わらないはずなのです。

この報告書の中では、引き続き調査を継続しますや、データが悪くなったときにはその改善を考えますなどと記載されております。その言葉について、市側としてもっと積極的な表現をしてもよろしいのではないかと思います。例えば悪くなった場合には、なぜ悪くなったのかがあまり記載されていません。記載されているところもありますが、こういう原因になっているから次年度はこうしたいという、より積極的な表現を加えてみたいかがかと思っております。それから、データが改善している場合と横並びの場合、こういう施策をとったから改善しましたということがあまり記載されていません。そのことも市としてより積極的な表現を取り入れてもよいと思います。

47頁に河川水質測定実施状況があります。令和2年度、BODの値が非常に上がっていますが、この原因は何だったのでしょうか。そして、これを下げるためにはどのような努力を考えていらっしゃるのでしょうか。以前お伺いしたときに、座間市を流れる鳩川と目久尻川の上流域、つまり相模原市とも連携を取っているという御発言があったかと思えます。令和2年度にデータが上がっていることについて、上流域、相模原市のデータを把握していますか。

それから、90頁に二酸化窒素の測定について記載されております。今年度からPTIO法を取り入れるということですが、トリエタノールアミン・プレート法とPTIO法の特徴の差というのはどういうところでしょうか。なぜPTIO法に切り替えたのでしょうか。

・田中会長

ありがとうございました。前半は、悪化した、あるいは急激に変化した要因、改善した場合もできれば改善の要因が分かれば、特に悪化した場合には今後の対応、対策についても触れるのがいいのではないかという御意見かと思えます。事務局はもう一度踏み込んで精査していただくとよいと思いました。その上で、47頁の水質の悪化に関して、大気の測定法に関して、事務局から答えられる範囲でどうぞお答えください。

・事務局

表現については、改めて検討してまいりたいと思います。御質問の中の河川の原因につきましては、理由ははっきり分かっていません。また、実際に上流域はどうなっているか、



相模原市の資料は今、手元にございませんで、関連性の報告はできません。

PTIO 法につきましては、昨年度から変えた理由は、ほぼ近隣市含め国もそうですが、PTIO 法で調査をしていますので、座間市だけ独自にやっていたところがありますので、他の市町村と合わせて比較がしやすいように PTIO 法に切り替えたというところがございます。

私が答えられるのが、この回答だけになってしまうので、大変申し訳ないですが、分かり次第、皆さんにお伝えさせていただければと思います。

・吉井委員

今回、年4回ですね。前年度までは月1回でしたね。

・事務局

年4回に減りましたが、実際、環境基準を超えなかったことがずっと続いていますので、計測回数も減らせていただいたというのが一つと、また他市町村で比較しても年に2回ないし4回というところが多かったので、4回にさせていただきました。

・田中会長

それでは、水質の悪化の原因、対応については、分かる範囲で追記をしていただくということですね。それから大気の測定法は少し補足説明があったほうがいいかもしれません。測定法を変えると数値が変わるということがあるのではないかと懸念されているかもしれません。

・小池副会長

随所に新型コロナウイルス感染症による影響が出ていて、イベントが中止になったなどの直接的な影響と、自宅にいる時間が長いので騒音が気になりだしたとか、二次的な影響が出てきます。そうすると、また三次的な影響もいろいろなところに出てくると思いますが、それらをまとめて第2章の分野別の取り組み状況の冒頭に、全体に対して新型コロナウイルス感染症の影響があり、環境にも影響が出ているというようなことを、田中先生と相談して、一言コメントを入れたほうがいいと思います。74頁の取り組み状況のまとめは、藤倉先生が言ったように一つ一つやらなくてはいけません、全体的に一言、触れたほうがいいのではないかと考えていますが、どうでしょうか。

・田中会長

令和2年度がこれまでの平年的な通例の年とは違う環境にあり、その影響がかなり出ているということではありましたので、全体を総括しておくというのは大事かと思います。

・藤倉委員

関連して、28頁にコラムでコロナ禍と環境問題というのがありますが、ポイ捨てが減

ったということが中心になり、ややもったいない感じもしているので、コラムをここに入れるのかも含めて、今のお話を合わせて検討していただいてはどうかと思います。

例えば、CO<sub>2</sub>も世界の話をしているのですが、座間市の話をしたほうが良いと思いますし、併せて先ほどの苦情が増えた理由の一つに換気のために窓開けているからうるさいとか、そういった話もあったと思います。自然との触れ合いが減っているのではないかと。ですから、少しこのコラムが狭くてもったいないというのと、今のお話と併せて御検討いただいてはどうかと思います。

・村山委員

CO<sub>2</sub>の量が減ったことなどは、さっきの慰めるCとはまた逆に、喜んでいられないAですよ。公共施設が使われてないためのAだったりするので、そういう影響が環境の数値にも及んでいるというのは、進捗状況の記録としては面白いのではないかと思います。

・田中会長

28頁のコラムは事務局でも随分、工夫されて書かれていると思います。今御指摘の点はよく分かりますので、また副会長からも御提案があったので、特別な年だったということ振り返る上でも、もう少し充実させて書くということもあるでしょうか。一つはこの世界のCO<sub>2</sub>の排出量とポイ捨てのごみの減少ですが、逆にごみは増えていると思います。それから観察会が大きく減っているとか、自然との触れ合いにも影響が出ているとか、そういう多面的なことももっと取り入れてまとめたらどうでしょうかという御意見かと思えます。それから、令和2年度の全体状況もどこかでまとめるという意見もあったと思えます。いくつか宿題をいただいて、また整理をしていきたいと思えます。

ちなみに、座間市の年次報告書のいわゆる確かさやまとまり具合というのは、相当なものだと思います。幾つか他の市も見ているのですが、座間市が今、人口が13万ぐらいのレベルでこれだけ充実した年次報告書を作るというのはあまり見ないです。それから何よりも具体的に、例えば測定値も全部出して、かなり透明度の高い報告書になっているわけです。具体的な測定値が後ろのほうに載っております。先ほども、令和2年度のデータがどうして高くなったかというのをもう少し丁寧に見ていけば、このときに高くなったのでこれが引っ張っているかなというのがよく分かります。そのようなことも含めて、総体としてはよくまとまっていると思えますが、さらによくする上で、今日、いろいろな御意見をいただきましたし、また追加の御意見がありましたら紙で出していただければというふうに思えます。どうもありがとうございました。

～事務局から議題(3)について説明～

・田中会長

これまでどのような形でこのアンケート調査案を修正してきたかという手順のご説明が

中心でした。具体的には、御意見として、資料6と資料7についてお気づきの点があったら出していただくというのがよろしいかと思えます。それではどうぞ。

・鈴木委員

資料7の間1の丸2番。従業員の規模です。従業員の規模で1番から6番までございますが、5番が200から399で、6番が300人。これは299の誤りでしょうか。

・事務局

そうです。失礼いたしました。

・田中会長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

・小池副会長

二つあるのですが、市民用の間14の選択肢の1、豊かな緑の中の相模川河岸段丘の傾斜林は、普通の市民はあまり分からないのではないかなと思っているのですが、基礎調査結果のまとめに、自然条件ということで、座間市の地勢とあり、断面図を描いていて、そこに相模川河岸段丘面と書いてあります。ここで、例えば座間市役所がどこに位置するのかわかるとか、そうすれば、これを見ればある程度分かるのですが、河岸段丘面といたら、市民が分かるでしょうか。

もう一つは、事業者アンケートの間10の選択肢1、助成金や優遇措置など、支援制度の充実または拡充と書いてありますが、「または」というのはおかしいのではないですか。充実や拡充ではないですか。

・田中会長

おっしゃるとおりですね。後の方は表現のことでいいと思いますが、1点目の河岸段丘の斜面林というのは、なかなか市民にとっては分かりにくいでしょうか。

・事務局

少し分かりづらいので、これは削除いたします。

・小池副会長

河岸段丘といたら、実際どこのことを言っているのですか。

・事務局

河岸段丘だと座間丘陵ではないかと。

・小池副会長

座間丘陵のことを言っているのであれば、座間丘陵と書いたほうがいいのではないかと思います。河川敷の土手からこっちはずっと河岸段丘です。そういうことを市民がどこまでイメージできるのか。

・田中会長

豊かな緑の代表ですので、市内で森林が豊かな場所を代表例に挙げたらいいのではないですか。座間丘陵で分かれば座間丘陵でよいでしょう。

・小池副会長

第4次総合計画では、田んぼなど一帯も豊かな緑という表現です。あとはお任せします。

・事務局

はい、わかりやすいようにいたします。

・田中会長

相模川とか目久尻川とか鳩川というのは、親水空間があまりないですか。2番の湧水とか池とかだけではなくて、もっと広い親水空間というのはないのですか。

・小池副会長

親水空間というのは、座架依橋の左から神奈川県と座間市でつくった、あそこは親水公園というような名前ですよね。

・田中会長

親水空間というのは、水辺空間などをいうのですよね。そうすると、私が思うのは、相模川沿いなども親水空間だと思います。湧水がよければ湧水でいいと思いますが。事例として挙げるのにふさわしいのを例示してくださいというのが、委員の御指摘だと思います。

他にいかがでしょうか。

・藤倉委員

市民向けに関して表現が二つと内容が一つなのですが、内容に関しては、問11で省エネ・再エネ設備のことを聞くので、市民向けの属性として、あなたが今、住んでいる家は、一軒家と集合住宅、それぞれに賃貸と持ち家という可能性が両方あるのですよね。それは、このエネルギーだけではなくて、例えば緑を植えられるかとか、そういうことにも少し関わってくるので、事業者のほうは持ちビルですかというような話があるのですが、家の属

性は市民の方には聞けないですか。

表現のことを言うと、一つ目は市民向けの間4で、Mに電気自動車用急速充電器というのがありますが、急速充電器という環境事業を行っているのか、何しているのかが分かりません。

もう一つは、問11ですが、最初に、「あなたが今、住んでいる家では・・・」などの表現がないと、少し分かりにくいという感じがしました。

あと、もう一つ、事業所向けの間10ですが、例えば中小企業事業者の省エネ診断のようなものがあると思いますが、省エネ診断を思い付いたときにどれに当たるのかが分かりません。具体的な幾つかの施策を思い付いたときに、これに入るのが分からないので、もし例示ができるのであれば、括弧して例示したほうが良いという感じがします。

・田中会長 そうですね。それでは、事業所のほうから、省エネ診断という選択肢を入れるか、あるいは選択肢の3の所に技術情報や省エネ情報の提供というのでしょうか。

・藤倉委員

情報の提供だともらうだけですけど、省エネ診断はそこに来て、アドバイスしてくれるということだとイメージしています。

・田中会長

それであれば、新しい項目があったほうが良いかもしれないですね。

それから市民のほうは、表現の話は御指摘のとおりだと思います。「あなたが今、住まわれている住宅で」というふうに入れたほうが分かりやすいというのはそのとおりです。それから、急速充電器という見出しの活用とか利用とか、そういうことですか。

・藤倉委員

市がやっているから、貸し出しなのですか。

・事務局

貸し出しです。充電設備の開放です。

・藤倉委員

市役所にある充電設備を自由に使っていいと、書いてもらうのが一番わかりやすい。

・田中会長

開放というのは、市の側から見れば市民に開放ですが、市民からすればそれを利用した

ということになります。

これは J など展示販売というのも市の側から見れば確かに展示販売ですが、市民の側から見ればリサイクルプラザの中で再生家具を購入したとか、そういうことを言うということで、分かりました。そこは少し表現を足せばいいということですね。

・事務局

はい。

・田中会長

さて、居住形態をいわゆるアンケート属性に入れてはどうかという御提案だと思います。問 1 に属性についての問いがありまして、年齢と居住区域があるわけですが、市民に対して、あるいは回答者に対して居住の形態を問うというのは、抵抗はなさそうですか。

・小池副会長

当然これは無記名ですよ。

・田中会長

無記名です。

・村山委員

問 1 1 の導入予定がない理由で、5 番に賃貸や集合住宅のためという選択肢が入っていますが、これでなんとかならないでしょうか。この設備を入れられるか入れられないかに関わってくるのであれば、この設問でもいいという気はします。場合によっては集合住宅でも賃貸でも入れられるところもあるかもしれないし、入れられない理由でチェックできれば、財産を聞くのも抵抗ないかなという気はします。

・田中会長

問 1 1 だけに居住形態という欄を作って丸をしてもらうというのはあるかもしれませんが。もう一つは、村山委員がおっしゃるように、「導入予定がない」で、それから読み取るというパターンですが、恐らく藤倉委員の意図は、居住形態、例えば戸建てのほうがこういう機種が導入しやすいとか、属性との関係でそういう傾向が分かるのではないかと御指摘でしょうね。

そうすると、今後その普及を図ってとか、あるいは助成をしていく場合にも、若干そういうことを考えた上でして行かなくてはいけないということになるのでしょうか。工夫してみたらどうでしょうか。この機器導入のところだけに限って参考情報として居住形態も丸を付けてもらうような項目を置いておくということはどうでしょうか。

・西委員

市民向けの問2で、12番にごみの正しい分別、リサイクルの実施というのがありますが、ごみの正しい分別の前に「削減」を入れていただいたほうが良いような気がします。使い捨てプラスチックなどの削減がとても話題になっているので、例の所に、これだと分別とリサイクルをすればいいというような感じになってしまいますので、例えばワンウェイのストローやスプーンは断るとか、入れていただいたほうが良いかなと思います。

・田中会長

うまく表現を収めて1行に収めるようにしたほうが良いと思いますが、削減でしょうか。

・西委員

それはどちらでも結構です。

・田中会長

発生抑制、リデュースが大事だということですね。

ちなみに、この所、リサイクルに出すという表現になっていますが、恐らく資源分別回収の徹底ということなのでしょう。

・藤倉委員

そういう意味なのですか。市の収集ではない、スーパーの牛乳パックとか、子ども会でアルミ缶やっているかどうか分かりませんが、集団回収ではないのですか。

・田中会長

そういうことであれば、そういう表現しないといけません。確かに分かりにくいですね。リサイクルに出すと言ったときに。

・事務局

私は、通常のごみを出すのが分別で、リサイクルの実施は集団の資源回収ですとか、スーパーでも分別で回収したりするところがあるので、そういった意味合いで受け取っていました。

・田中会長

では、その意味が分かるように書いていただくと良いと思います。

・事務局

分かりました。

・田中会長

よろしいでしょうか。それから削減ですね。ごみの減量、削減というのを入れましょう。他にいかがでしょうか。

・藤倉委員

すみません、もう一つあります。それこそ座間市が推しているポイ捨て防止とか、落書きを見たら市に言うとか。

・田中会長

5番に入っているのではないですか。

美化、景観は少し大きいですけど、美化のほうですかね。

・藤倉委員

そうですね。景観と見えてしまったのですよね。

ポイ捨ても下に入っていました。すみませんでした。

・田中会長

ありがとうございます。かなり丁寧に検討していただいて、項目が洗練されてきていると思います。いかがでしょうか。

・村山委員

部会のときよりも見やすくなっていいなと思っています。すごくシンプルで、1行で見やすくなったので、部会で頑張ってよかったと思います。回答しやすいのではないのでしょうか。

・田中会長

そうですね。特によろしいですか。

・小池副会長

市民の間12のRの公共交通機関が充実しているということはどういうことですか。

・田中会長

一読すると、鉄道とかバスのことを想定されますね。

・小池副会長

そうですね。だから環境とどう関係あるのということです。



・事務局

最初の表現が、環境に優しい交通が充実されているという表現だったと思います。それで、それが何を意図しているのか分からないと御意見があり、最終的にこの公共交通機関の充実ということにさせていただいたのですが、公共交通機関を利用するということは、自家用車を使わないということになりまして、CO<sub>2</sub>排出が少なくて済むということで、それで項目として入れております。

・小池副会長

ありがとうございます。自分の思っていることと同じでしたが、市民もそう考えてくれるといいですね。

・田中会長

それでは、ありがとうございました。今日いただいた御意見を基に、もう一度、再整理をして確定いたします。ただ、若干まだ時間がありますので、もしあれば急いで、後ほどお電話でもいいですので、御意見いただければ、調整可能だと思います。

何カ所か表現を変えたり、あるいは場合によっては項目を若干、見直し、追加したりということあるかと思いますが、およそ、御確認いただきましたように、大体この形で実施をさせていただくように案が固まりました。ありがとうございました。

**～事務局から議題(4)について説明～**

・田中会長

ありがとうございました。これが計画策定に当たっての基礎条件ということになると思っていますので、何かお気付きの点や、あるいは追加すべき論点ありましたら、どうぞお出しいただきたいと思います。いかがでしょうか。

・小池副会長

これはどこかに出したりするものですか。

・田中会長

これは計画をつくる時のあるパートにこういう内容も収まっているということになるのでしょうか。

・小池副会長

一般市民が見ることはできますか。

・田中会長

いや、計画の本体にこの内容が入ってくる、そのたたき台、骨子になる、そういう理解です。今日の年次報告書の中にもありますが、最初に計画の概要が説明されているので、そういうところになります。

・小池副会長

この自然条件ですが、やはり一般市民が分からないので、先ほど言った市役所の位置とか書いてほしいというのが一つあります。それと、環境部のほうで地下水保全連絡協議会をやっています。一方で、座間の水はおいしいと宣伝しています。80パーセント地下水です。保全連絡協議会で座間の地下水の位置データがあると思うので、この中に、地下水の絵を入れることはできますか。座間の地下がどうなっているか。

・事務局

検討はしてみますが、かなり複雑な図面になっているので、これに合わせるのは少し難しいかなと思います。

・小池副会長

不透水層を描いてみることはできませんか。

・事務局

この図面に合わせられるかどうかは分かりませんが、別に載せられればというところで、検討はしてみます。

・田中会長

座間にとって地下水の環境というのは大事なことなので、ぜひそのような情報を入れたらどうかというご指摘ですので、環境計画の整理の段階で取り入れてみてください。他にいかがでしょうか。

国際的動向の2030アジェンダというのは、SDGsのことだと思いますが、SDGsという見出しを付け足したほうがより分かりやすいかもしれません。

村山委員

正式名称はこっちというか、私たちの世界を変革するようなものがつくのですが、長くなりますので、2030アジェンダ・SDGsみたいな感じでいかがでしょうか。

・田中会長

はい、分かりました。

それから、この自然を活用した解決策ですか、Nature-Based Solutions、NBS という話がありますが、例えば最近でいえば、いろいろな情報開示の話だとかデジタル化の話とか、動きはたくさんあります。だから、どこまでそういうのを拾うかというのはありますが、少し工夫してみてください。特にデジタルで対応していくというのは、国も随分これから施策を強化することになりますので。

・村山委員

第5次環境基本計画は相当、地域循環共生圏を推していたと思いますが、単語だけでも入れておいていいのではないかなと思います。

策定中の計画、少し書いてありますが、次期生物多様性国家戦略とか検討は始まっていますが、入れるべきか、入れるべきではないか、僕もよく分かりません。他の策定中とのバランスみたいなのと、また計画と戦略と。結構、生物多様性は大事だとは思いますが、今、検討中でいつということはまだ言っていません。載せていいか少し検討していただければと思います

・事務局

分かりました。

・田中会長

この国の動向辺りは、引き続き収集して収めていけばよいのではないかなと思います。温対法の改正も確かあったと思います。

どうでしょうか。2面のほうは、どちらかというと座間の環境がどうなっているかということで、課題も含めて整理をしたという感じです。年次報告書にまとまっているデータを持ってきていますので、あまり齟齬はないと思いますけれども。

・藤倉委員

次期基本計画は、何年から何年ですか。2023年、令和5年からは分かるのですが、そもそも何年間計画かが分からないと。

・事務局

8年です。

・藤倉委員

8年、2031ですね。

・田中会長

2023から30ということですね。分かりました。他にどうでしょうか。

最終的に計画書の本体の案がまとまってくる段階で、先ほども少し話が出ました自然的条件については、またいろいろな情報が追記されてくるのでしょうか。地勢の断面図がありますが、それ以外にも、主な環境資源であるとか、いろいろな自然的条件が出るように思います。

これは経過報告ということで、これが新しく策定する計画のある部分の骨子になっていきますので、また見ていただく機会があろうかと思えます。

それではよろしければ、全体に渡って何かお気付きの点がありましたら、お願いしたいと思えます。よろしいでしょうか。

・室星委員

今ほどアンケート調査の内容を審議されましたが、これは基本計画年次報告には入れられるのでしょうか。

・田中会長

結果を使って記載をまとめていくことになると思えます。市民の意識とか、市民の認知とかも入ってきます。あるいは、先ほどご説明がありましたように、例えば将来像、市が掲げる環境の将来像を検討するときに、市民の意向がこうであったということ、そういう内容が反映されてくることになると思えます。

それでは、私のほうから最後に、今後の計画策定、それから年次報告書スケジュールを教えてくださいよろしいでしょうか。次回の審議会の予定があると思えますが、それ以外に計画策定、それからアンケートは確か11月に実施をするという予定がありました。それから、年次報告書も今日御審議いただきました。どうぞお願いいたします。

・事務局

まず、次期環境基本計画に係る市民・事業者アンケートは11月から2週間程度、アンケート実施期間を設定しています。この市民・事業者アンケートの内容は印刷製本の関係で10月12日までには内容確定をしないといけませんので、今日皆さんからお出しいただいた御意見を踏まえて最終案を策定します。こちらは田中会長に承認をいただければ、審議会の総意を得たということにさせていただいてもよろしいでしょうか。

・田中会長

では、そのように、アンケート票については御一任をいただくということにしたいと思います。分かりました。

・事務局

ありがとうございます。そうしましたら、10月12日までに内容を最終確定しまして、

その後、印刷に入り、そこから11月の上旬から2週間、3週間ぐらいを実施期間としてアンケートを実施いたします。その結果を受託業者にまとめていただく期間が12月いっぱいとさせていただいて、翌年1月にはまずその内容を踏まえた上で、次期計画にどのように生かしていくか等を検討していただく場として、第2回目の計画策定部会を1月に開催させていただき予定で検討しております。部会でアンケート報告書および部会での御意見を踏まえた結果を第3回の環境審議会において報告させていただくとともに、さらに次期計画の体系をどのようにするか等も踏まえ、第3回の審議会の場で議題とさせていただきたく考えております。第3回の審議会については、令和4年の2月頃、開催予定と検討しておりますので、よろしくお願いいたします。

・田中会長

分かりました。大体そのようなスケジュールで、次回、審議会としては来年2月頃、予定するということです。その間にアンケート、それからもう少し計画の本体のほうの検討も進めていくということです。それから、年次報告書でございますが、本日、数多くの大変貴重な御意見をいただきましたが、別紙で資料4の意見書がありますので、さらにお気付きの点がありましたら、この書式、あるいはメール等で事務局にお送りをいただきたいと思っております。その後、審議会としての意見書案をまとめますので、1枚紙になると思っておりますが、それは皆さんにメールか何かで見ていただいて、それでよろしければそれを収録する形で年次報告書の作業を進めていきたいと思っております。これも恐らく若干、時間がかかると思っておりますが、年内くらいに発行できるような感じになりそうでしょうか。

・事務局

意見書の締め切りが10月22日金曜日ですので、それから御意見が出た内容の関係各課と調整させていただいた上で、意見書取りまとめを作成し、それを大体11月か12月上旬までにはお送りさせていただいた上で、12月に環境審議会の提言のまとめを皆さまにお送りさせていただき、提言内容を確定とさせていただきたく考えております。

・田中会長

ということで、年次報告書も最短でいけば12月いっぱいくらいにはまとまるということで、できるだけ早く作業のほうも進めさせていきたいと思っております。

予定していた議題、それから今後の進め方についてはそういうことでございます。それでは審議会はここまでさせていただきまして、あとは事務局にお戻ししますので、お話等あればお願いいたします。それではどうもありがとうございました。

・事務局

以上で令和3年度第2回座間市環境審議会を終了いたします。本日はご出席いただきま

してありがとうございました。